



まちたん

～まちのお宝探検隊～



▲旧豊坂家住宅

江戸時代中期に採用された「享保尺」以前の古い間取り寸法で建築されているといわれ、市内の民家の中でも大変古いものです。一般的な民家にはあるはずの「土間入口」を持たない貴重な存在でもあります。

令和2年には、柱や梁などの損傷部分の修理と、伝統構法を活かした耐震補強を行い、移築後初めての大規模な改修工事を行いました。

後世に伝えたい宝物
「上宝・奥飛驒温泉郷編」

上宝・奥飛驒温泉郷地域は、市の北東部に位置し、農業が盛んです。多くの文化資源にも恵まれており、観光スポットも多くあります。

◆**旧豊坂家住宅と篠原文庫**

「旧豊坂家住宅」は、昭和43年に上宝村文化財に指定され、上玉村蔵柱から奥飛驒温泉郷平湯に移築されました。



▲篠原無然記念館（入館する場合は近接する「緑次」にお問い合わせください）

「篠原文庫」は、大正時代に社会教育活動に大きな功績を残した篠原無然（本名緑次）の著書・遺稿・文書・遺品などを総称するものです。

彼は平湯で教師をする傍ら、青年団などの創設指導・講演活動を行い、出稼などに出ていた工女の待遇改善にも積極的に取り組みました。昭和36年に平湯篠原会に無然文庫が設立され、昭和49年にはこれらが上宝村文化財に指定されました。現在は、旧豊坂家住宅の隣にある「篠原無然記念館」に保管展示されています。

◆福地化石標本

奥飛驒温泉郷福地周辺にある「福地の化石産地」は、昭和37年に国の天然記念物に指定されました。

ここで発見された化石のうち特に貴重なものが、昭和50年に県の天然記念物に指定された「福地化石標本」100

点です。現在は、昔ばなしの里内の古民家「福地家」の2階にある「福地化石館」で展示されています。



▲福地化石館

◆上宝ふるさと歴史館

上宝町本郷にある上宝ふるさと歴史館は、平成14年4月に開館しました。館内は、地域に縁のある円空や播隆の資料、土器や民俗資料などを4つのテーマに分けて展示しています。

①山に抱かれた奥飛驒・上宝

古生代から中生代にかけての幅広い時代の化石や、遺跡から出土した石器や土器を展示しています。

②山々への畏怖と深い信仰心

江戸時代前期に生まれ、地域にも多くの足跡を残した円空による神仏像や、江戸時代後期に諸国を旅し、笠ヶ岳の登山道の再興を成し遂げた播隆に関する資料を展示しています。

③厳しい農業の歴史と人々の努力

江戸時代に飛驒で起きた大規模な農民騒動「大原騒動」に関する資料と騒動の中心人物の一人で、19歳で獄門となった本郷村善九郎の資料を展示しています。

④山を治める人々の知恵

農業・林業・狩猟など、古くから使われてきた民具を展示しています。



▲上宝ふるさと歴史館

紹介した施設周辺では、散策を楽しむこともできます。また、各所の道中にも多くの文化財がありますので、温泉入浴を楽しみながらのお宝探検にぜひお越しください。